

令和 6 年第 4 回(臨時会)

厚真町教育委員会会議録

1 開会

令和 6 年 3 月 4 日 (月) 17 時 00 分

2 閉会

令和 6 年 3 月 4 日 (月) 18 時 00 分

3 出席委員の氏名

遠藤 秀明 長門 茂明 金光 えり 池川 徹 日西 大介

4 委員及び傍聴人以外の会議出席者氏名

生涯学習課長 阿部 雄史
生涯学習課参事 乾 哲也
生涯学習課参事 作田 和彦

5 会議録署名委員の指名

(長門 茂明)

(日西 大介)

6 教育長報告

(1) 令和 6 年度 4 月 1 日付教職員人事の内示について

【質疑】

金光委員：通級に関しては、記載以外にプラス 2 人ということか。

教育長：現状の 2 人のままである。

金光委員：中学校も含めて現状でということか。

教育長：そうである。13 人がひとつの基準だが、1 つの学校でクリアしているのが中央小学校で、上厚真小学校、厚真中学校を含めてトータルで 26 人を超えるということで 2 人となっている。

金光委員：２月下旬で加配となっているのは、中央小学校１人と、上厚真小学校１人ということか。

教育長：災害加配は、胆振東部地震から５年が経過したということで、これまで特別に近隣３町にスタッフとして教員１人を配置していただいていたが、今回解除された。

７ 議案

議案第１号 令和６年度厚真町公立学校教職員人事の内申について

(資料１)

【質疑】

なし

議案第２号 厚真町民に対するスポーツ振興及び文化振興行事参加費用助成金交付基準の一部改正について (資料２)

【質疑】

池川委員：これは予算圧縮のためか、またはより厳密化するためか。

乾参事：両方である。今までの運用において、基準が曖昧で、その都度判断するというのが担当職員及びグループ内で課題となっていた。

池川委員：過去に、予選がない全道大会や全国大会の競技が増え、それに対する支出が増えていると聞いていたが、それを制約する内容は記載されているのか。

乾参事：１人２回までとして、金額について記載している。

池川委員：選ばれて行くのも自己推薦で行くのも、今までは同じように助成されているという話を聞いており、重みが違うのではないかという意見もある。去年と比較してどの程度予算が圧縮できるかシミュレーションしているか。

乾参事：今年度は６００万円ほどであったが、改正後の基準では１２０万円程度圧縮される。

池川委員：宿泊も含めて１００km以内のものが多いということか。

乾参事 : それらに加えて、上限額で制限されているということもある。

池川委員 : これほど圧縮できるのであれば、予選の有無はあまり関係ないのか。

教育長 : その点も見直しの検討材料ではあったが、昔と違い、予選が少ない場合や、いきなり全国大会という場合も出てきている。今までは回数制限や上限を設けていなかったが、そこを見直した。回数制限については、同一種目で1年に2回までという記載がないが、その点を明確にして改正するという事でよろしいか。

委員全員 : 良い。

金光委員 : 文化振興行事については、吹奏楽も該当するのか。

乾参事 : その通りである。

金光委員 : 例えば、厚真高校に通っている苫小牧市在住の子どもが、スローイングチームに所属していて大会に出場する場合は対象になるのか。

教育長 : 町民が対象のため、補助対象にはならない。

乾参事 : 反対に、町外のチームに加入している厚真町の子どもについては、補助対象としている。

池川委員 : 近隣の安平町、むかわ町と比べ、厚真町は補助額が良いのか。

乾参事 : 良い。

池川委員 : 近隣と統一したほうが良いのではないか。

乾参事 : 全道大会では同程度か、安平町の場合は全額補助という場合もあるが、全国大会では厚真町はかなり優遇されている。

池川委員 : 今後、広域連携して活動しようとしている中で、将来的にでも近隣と足並みを揃えないといけないのでは。せめて3町だけでも、統一について協議しておいたほうが良いのではないか。

乾参事 : 全道については、むかわ町は同額の2万円、安平町は全額補助となっている。

教育長 : 今後の情報共有と、特に陸上関係は実態として既にあるので、近隣との調整や今後の検討課題として担当者レベルでは話をしておいたほうが良いと思う。

池川委員：指導者についても、3町で合意を求めるならば、3町内の指導者であれば、3町内いずれかに居住していれば補助するということも可能ではないか。

教育長：その町に住む子どもや町民の方が、有能な指導者によって開花したり活躍したりするのであれば、指導者分も今後の検討材料となると思う。

乾参事：部活動の地域移行に関して、安平町やむかわ町と情報共有を進めている中でも指導者の確保は問題になっているので、その点については再考したい。

教育長：現在、厚真町で活動しているスポーツ団体に外部指導者がおり、その方に補助している実態はないと思う。広域連携が始まった際に、近隣や町外の指導者が引率して大会に出る場合、指導者分については地域人材を育てていただいている支援として補助するという方法も考えられる。指導者への支援については、4月1日の施行日まで近隣の状況を確認する。

池川委員：これほどの予算が軽減できるということは、保護者の負担が増えるということか。

教育長：実際に、負担するのは親として嬉しくもあり悲鳴でもある。それを町としてもバックアップしたいという思いで補助を行っている。

池川委員：生活保護を受けている子どもについての記載はあるか。

乾参事：申請書の提出は必要だが、免除する旨を記載している。

金光委員：例えば、全道大会後に全国大会に行く場合、1人2回までというのは何泊でも2回まで良いのか。

乾参事：それについて、上限額を設けている。

池川委員：この2回の大会の補助申請は、自分で選択できるのか。

乾参事：2回までであれば選択できる。

池川委員：宿泊費が高騰している中、補助額では厳しいのではないか。補助内で実情に応じて対応すべきではないか。

阿部課長：町職員も、条例で宿泊費が基準を超える場合は実費支給できること

となっている。この補助は町の条例に準じているので、超過した場合は実費支給できる。

池川委員：上限はないのか。

阿部課長：上限はないが、やむを得ない場合となっている。

教育長：本原案については若干の修正等の意見があった。金銭に関わることなので、再点検した上で施行に向けて準備していく。できれば３月２９日に予定されている委員会で最終版を提示したい。

８ 協 議

なし

９ その他

(1) 転入教職員の歓迎式

・ ４月４日（火） 午後２時３０分 総合福祉センター大集会室

１０ 次回委員会の開催日程

・ ３月２９日（金）午後２時３０分（定例会予定）

１１ 閉会